広報 なすからすやま

No.168

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集1　どうなる！市役所……2
子ども議会……5
消費税10%～いよいよ10月～……6
広島派遣事業……8
市職員給与のあらまし……10
地域の夏祭り続々と……13
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム…15
まちのわだい……16
インフォメーション……18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより……20

2019
9
September

夏休みを満喫！（8月21日　B&G海洋センター）

市役所どうなる！

Part3

庁舎整備の場所はどこに？

烏山図書館周辺

中央公園

ＪＲ烏山駅周辺

先月号では、早急に対応が必要とされる市役所の整備方法について紹介しました。シリーズ最終回となる今月は、市役所をどこに整備すべきか考えてみましょう。合わせて、10月に開催を予定している市役所整備ほか重要施策に関する住民説明会の日程などを紹介します。

候補地の考え方

市では、新庁舎の立地場所として、次の方針で候補地を選定することとしています。

①市総合計画や各種計画における位置付けを踏まえ、都市活動拠点エリアである烏山市街地に整備すること。

②交通の事情や他の官公署との関係など市民の利便性に配慮するとともに、本市の財政状況を十分に踏まえ、新築ありきではなく既存施設の有効活用を視野にいれた費用対効果の高い施設整備を検討すること。

候補地の比較検討

候補地の選定については、機能的でコンパクトなまちづくりを目指すため、

〈表１〉新庁舎候補地一覧

項　目	候　補　地				
	烏山図書館周辺	中央公園	県庁南那須庁舎及び烏山庁舎	山あげ会館北側	ＪＲ烏山駅周辺
敷地面積（㎡）	3,377.81	19,512.97	14,023.64（県） 3,363.00（市） 17,386.64 合計	4,009.76	4,777
都市計画用途地域（建ぺい率，容積率）	第一種中高層住居専用地域（60%,200%）	白地（60%,200%）	白地 第一種住居地域（60%,200%）	近隣商業地域（80%,200%）	第一種住居地域、近隣商業地域および工業地域（60%,200%） ※近隣商業地域は建ぺい率80%
懸案事項	●第一種中高層住居専用地域では庁舎整備はできない ●新たな用地の確保	●急傾斜地崩壊危険区域（対応済） ●建物の立地、建築などに制約	●県借用施設の改修（カウンター設置など） ●烏山庁舎の耐震化（仮設庁舎の整備など） ●庁舎の延床面積3,000㎡以下	●新たな用地の確保	●新たな用地の確保（駅東西民地の用地交渉）
調整事項	●用途の変更	●アクセス道路の整備 ●用途の指定	●県との施設借用調整および改修協議	●ベンチャープラザと烏章館の機能移設 ●アクセス道路の整備	●アクセス道路の整備

県庁南那須庁舎

山あげ会館北側

〈表２〉新庁舎候補地の評価項目と評価内容

項目	評価項目（点数配分）	評価内容
まちづくり	まちづくりの方向性との整合（10）	総合計画、土地利用計画及び都市計画マスタープランとの整合
	都市基盤整備（10）	インフラ（上下水道、道路、電気、通信回線）の整備状況
	都市機能の集積（10）	他の官公署、金融機関、商業施設との近接性（中心市街地の活性化）
利便性	道路交通の事情（10）	公共交通、道路によるアクセス
	施設の機能集約性（10）	関係各課等の緊密性
安全性	災害対策本部機能（10）	建物耐震性の状況（敷地地盤の状況）
	防災拠点としての安全性（10）	土砂災害、浸水想定区域・浸水深等、避難スペース
実現性	土地利用上の規制（10）	都市計画法、文化財保護法等の適合性
	事業進捗の容易さ（10）	用地の取得等（市有地の活用又は用地買収）
	整備費用の多寡（10）	ランニングコストやライフサイクルコストを踏まえた整備費用（新築又は改修）

５段階評価
（10点：良い、８点：まあ良い、６点：ふつう、４点：あまり良くない、２点：良くない）

〈表３〉土地利用・都市構想プロジェクトチームによる評価結果

評価項目	烏山図書館周辺	中央公園	県庁南那須庁舎及び烏山庁舎	山あげ会館北側	ＪＲ烏山駅周辺
上位計画との整合	5.9	7.7	6.2	6.9	6.7
都市基盤整備	6.1	6.5	6.7	7.1	6.4
都市機能の集積	5.9	7.5	5.8	8.1	7.2
道路交通の事情	6.1	6.1	6.6	7.6	7.5
施設の機能集約性	5.7	7.3	4.7	6.2	6.0
災害対策本部機能	6.2	5.3	4.8	6.7	6.7
防災拠点としての安全性	5.5	5.3	4.6	6.7	6.7
土地利用上の規制	4.1	6.8	6.4	5.8	5.4
事業進捗の容易さ	5.2	7.5	6.0	4.4	4.1
整備費用の多寡	5.8	6.9	4.0	5.4	5.2
合　計	56.5	66.9	55.8	64.9	61.9

※数字は17人のプロジェクトチームメンバーによる評価の平均点。

烏山市街地における市有地を中心にまとまった土地を選定することとしました。具体的には、「烏山図書館周辺」、「中央公園」、「県庁南那須庁舎及び市役所烏山庁舎」、「山あげ会館北側」、「ＪＲ烏山駅周辺」の５つの候補地を選定しました〈表１〉。

５つの庁舎整備の候補地については、10の評価項目と評価内容を踏まえ、市職員17人で組織する「土地利用・都市構想等検討プロジェクトチーム（以下「プロジェクトチーム」という。）」において、評価しました〈表２〉。

なお、県庁南那須庁舎を借用した既存施設の活用と新築した場合の比較検討については、先月号で紹介したように、延床面積、改修、耐震工事の実施、ランニングコストの計算など、40年間のシミュレーションにより、新築による整備の方が経済的との結果となっています。

プロジェクトチームによる評価の結果、「中央公園」、「山あげ会館北側」、「ＪＲ烏山駅周辺」の順で高評価となりました〈表３〉。

将来性やまちづくりの観点からは、ＪＲ烏山駅周辺に庁舎を整備する選択も十分に考えられますが、用地取得など多額の財政投資や本庁方式への早期移行を図る観点から、中央公園に新庁舎を整備することが現実的という結果となったものです。

なお、まちづくりの拠点施設として

第11回子ども議会
小・中学生が議員に挑戦！

の庁舎整備にあわせて、他の公共施設との複合化による市民の利便性の高い魅力ある施設整備を図る必要性も十分に考えられます。

庁舎整備の場所

庁舎整備基本構想（素案）では、立地場所について、プロジェクトチームによる評価結果や外部委員で組織する「庁舎整備等検討委員会」による調査・検討結果を参考に、プロジェクトチームにおいて最も評価の高かった中央公園に新築で庁舎を整備する方針としました。また、本庁方式への移行にあたっては、南那須地区における市民窓口の設置など、市民の利便性を十分に検討していくこととしています。

さらに詳しい内容は、住民説明会や今後予定するパブリックコメントにおいて説明します。また、寄せられたご意見ご提言を踏まえ、市議会の庁舎整備検討特別委員会との協議などを経て、庁舎整備の立地場所を正式に決定していくこととしています。

毘沙門山からの市街地の風景

住民説明会の開催

市では、まちづくりの拠点施設となる「庁舎整備」とともに、「新たな防災情報伝達システム」や「都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画」について説明するため、住民説明会を開催します。市民であればどこの会場でも参加できますので、多くの市民の皆さんに出席いただき、貴重なご意見ご提言をお寄せください。

〈表４〉住民説明会日程

日　程	対象行政区	場　所
10月２日(水)	田野倉、小倉宇井、大金、東原、小河原、高瀬、南部	南那須公民館２階研修室
10月３日(木)	曲畑、八ヶ代、福岡	八ヶ代コミュニティセンター
10月４日(金)	こぶし台、鴻野山	鴻野山公民館
10月７日(月)	熊田	熊田西公民館
10月８日(火)	藤田、南大和久	藤田公民館
10月９日(水)	三箇、川井、志鳥	江川小体育館
10月10日(木)	仲町、泉町、城東、屋敷、元田町、鍛冶町、日野町、あたご、金井、金三、南、高峰パークタウン、宮原、大沢	烏山公民館２階研修室
10月16日(水)	上境、下境、小原沢	境公民館
10月17日(木)	神長、滝、野上、向田、落合	烏山南公民館
10月28日(月)	横枕、小木須、大木須	明和ふれあいガーデン（旧東小体育館）
10月30日(水)	興野	興野集会所
10月31日(木)	滝田、中山、谷浅見、大桶白久	七合公民館

※午後7時～概ね2時間程度

市では、将来を担う子どもたちが市議会の仕組みや市の施策などに実際に触れることで、まちづくりに興味関心を持ってもらおうと、8月2日㈮、市議会議場で「第11回子ども議会」を開きました。

議場では、市内の小・中学校の児童・生徒14人が子ども議員として登壇し、川俣純子市長をはじめとした市執行部に対し、子どもならではの視点で質問しました。また、議長は中学生2人が交代で務め、緊張感漂う中、本番さながらに議事を進行しました。

議長を務めた烏山中3年の藤田太陽さん（滝田）は、「今回は滅多にできない貴重な体験をした。かなり緊張したが、自分なりに良くできたと思う」と、南那須中3年の堤日和さん（小倉）は、「議長席からは、議場がすべて見渡せ、普段の生活では味わえない緊張感があったが、上手く議事を進行することができた」と話していました。参加者と質問内容は次のとおりです。（敬称略、質問順）

子ども議会に参加した皆さん

議場で質問をする児童

■南那須中3年　堤日和

若い世代が安心して暮らすことができ、住みやすい、住みたいと思う市にするためにどのような対策を考えているか。

■烏山中3年　寺澤花梨

パンフレットの配布、スタンプラリーの開催、ユーチューブへのアップなど、地域の人が山あげ祭をPRすることで、市の魅力を自覚できると思うが、いかがか。

■荒川小6年　林田龍空

こども110番の家や見守り隊の数はいくつくらいあり、地区によって数の偏りはないのか。また、登下校中の安全確保のために考えていることはほかにあるか。

■烏山小6年　鈴木絢葉

烏山図書館は、小学生が読みやすそうな本が少なく感じるので、学力向上も兼ね、小学生の利用者を増やすために小学生向けの本や参考書を置くことはできないか。

■江川小6年　滝口桃子

学校行事などにもここなす姫、からすまる、やまどんに来てもらえないか。また、今よりも出演回数を増やすことはできないか。

生徒が議長を務める

■烏山中3年　関谷実鈴

ひとけのない廃屋は、犯罪などの温床になる危険性があるが、廃屋を有効活用できれば、地域の活性化や人口増加につながるのではないか。

■七合小6年　小森咲芽

高齢化が進んでいるが、市では、10年後、20年後の農業をどのように考えているか。また、後継者対策、遊休農地対策は具体的に何か行っているか。

■烏山中3年　吉川和杜

高齢者が運転免許返納後も安心して暮らせるようデマンドバスを用意できないか。また、他市町を参考とした場合、財源は確保できるか。

■烏山小6年　磯大晴

信号機のない横断歩道では、スピードを出した車が恐いと感じることや、足の不自由な高齢者にとっては渡りづらいと思うので、もっと歩行者用信号機を普及できないか。

■荒川小6年　大野将輝

那須南病院などで、小児科の医師を増やすことはできないか。また、小児医療の充実、救急医療の充実のためにどのような施策を考えているか。

■南那須中3年　平野陽斗

近年、烏山高校への出願者数が定員を下回ることがあるが、烏山高校の魅力化へ向けて、市ではどのような協力体制をとっているか。

■境小6年　上原優成

清水川せせらぎ公園の遊具の再設置、照明を増やして桜のライトアップ、休日のお祭りやイベント開催など、公園をうまく活用し地域活性化につなげられないか。

本番さながらに答弁が行われる

■南那須中3年　野中雅矢

ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどで本市にも外国人観光客が増加すると思われるが、外国人観光客に市の魅力を発信する計画はあるか。

■烏山中3年　藤田太陽

人口減少対策のうち、子育てしやすい環境づくりについてどのような取り組みをしているか。また、人口減少対策としてほかに取り組んでいることはあるか。

消費税10%～いよいよ10月～

皆さん、10月に消費税が8%から10%に増税されることは、ご存知のことと思います。でも、消費税増税に伴い軽減税率制度が始まることは知っていますか。そこで、今月号では、消費者・事業者の皆さんが注意しなければいけないことを、分かりやすくお伝えしたいと思います。また、今までの制度と変わることも多くあるので、今から正しい知識を身につけてしっかりと心構えをしておきましょう。

※写真はイメージです。

今回、消費税が上がる理由は、安定的な財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぐためです。消費税率の引き上げ分は、すべての世代を対象とする社会保障のために使われます。具体的には、「待機児童の解消」、「幼児教育・保育の無償化」、「高等教育の無償化」、「介護職員の処遇改善」、「所得の低い高齢者の介護保険料軽減」、「年金生活者支援給付金の支給」などです。

社会保障制度の財源は、保険料や税金だけでなく、多くの借金に頼っており、子や孫などの将来世代に負担を先送りしています。少子高齢化が急速に進み、社会保障費は増え続け、借金に頼る部分も増えているため、消費税の増税が必要となります。

安定した社会保障制度を次の世代に引き継ぐためには「高齢化が進み、支え手が減少していく中で特定の世代に負担が偏らない財源」、「景気（経済動向）などの変化に左右されにくい財源」、「事業者の経済活動にできる限り影響を与えない財源」で支える必要があります。そのため、消費税が上がることになります。

軽減税率制度ってどんな制度？

「そもそも軽減税率って何？」という疑問を持つ人もいると思います。10月からの消費税増税では、ほとんどの商品の消費税を10%に引き上げますが、飲食料品（お酒・外食を除く）や新聞（定期購読契約された週2回以上発行されるもの）は例外になります。

これが軽減税率で、家計への影響を緩和するというメリットがあります〈図1〉。

日々の買い物で起こる変化

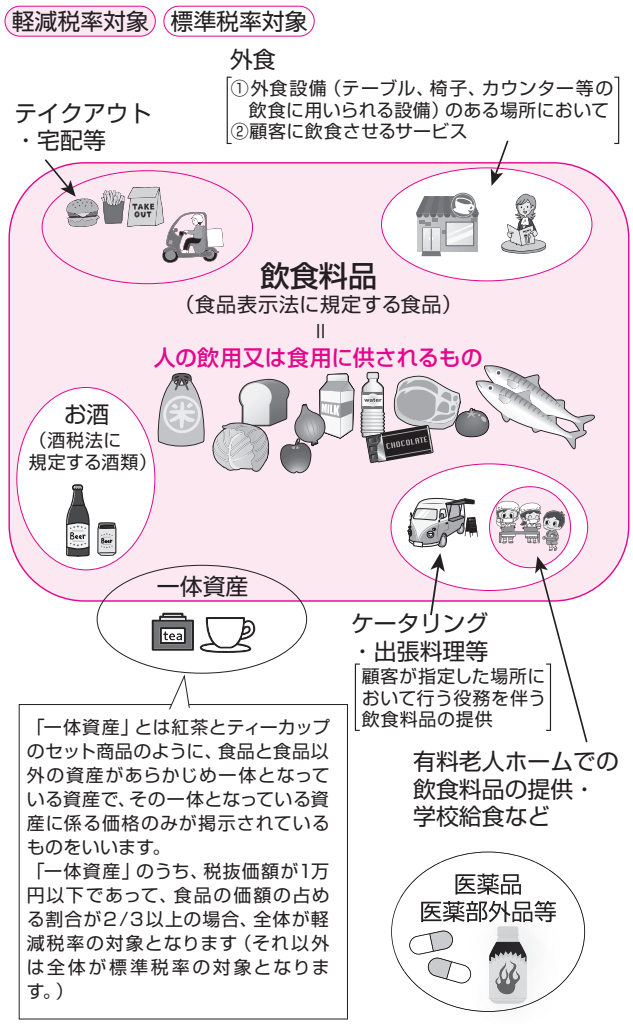
消費税率が標準税率10%と軽減税率8%の複数税率になるため、日々の買い物では、消費税率が10%になる商品と8%に軽減される商品が並ぶことがあります。購入した商品に適用される税率はレシートを見れば確認できます〈図2〉。また、酒類、外食、ケータリングの食事などは、軽減税率の適用対象とならず、消費税率10%が適用されます。自分が買った商品の消費税率が10%または8%のどちらなのかは、レシートを見て確認してください。

事業者のみなさんへ

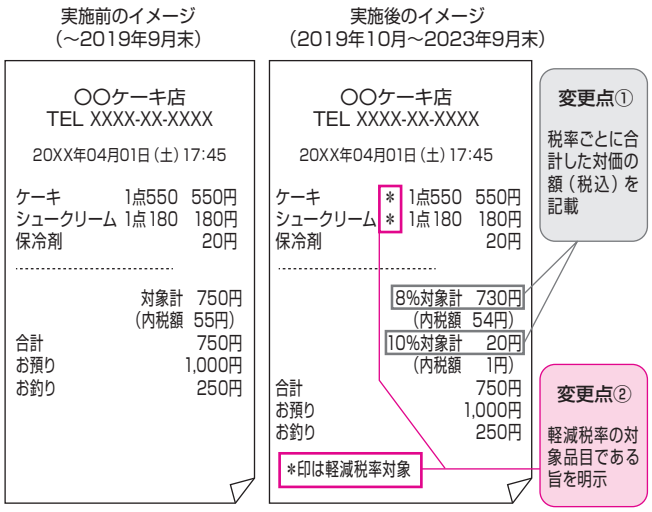
○軽減税率対策補助金

軽減税率の影響を受けるのは消費者だけではありません。商店などを販売する事業者側は、複数税率に対応したレジの導入や受発注システムの改修などを行う必要があり、大きな負担になるかもしれません。そこで、この事業者の負担を減らすため、軽減税率対策補助金という制度があります。該当する場合は積極的に活用しましょう。詳

〈図１〉【軽減税率の対象品目】



〈図２〉【軽減税率制度実施前後のレシート】



しくは、軽減税率対策補助金事務局（☎0120－398－111、URL：http://kzt-hojo.jp）にご確認ください。

プレミアム付商品券を販売します！

市では、今回の消費税の税率引き上げが消費に与える影響を緩和するため、住民税非課税世帯など所得の少ない人や子育て世帯に向けたプレミアム付商品券を販売します。

・販売期間…令和元年10月1日㈫～令和2年2月28日㈮

※詳細はP15の「消費者ほっと♡らいふナビ」をご覧ください。

○プレミアム付商品券の〝特殊詐欺〟などにご注意ください！

市職員や内閣府職員などが、プレミアム付商品券の引換などにあたり手数料の振込を求めたり、ATMの操作を依頼したりすることは絶対にありません。自宅や職場に不審な電話やメール、郵便物がきた場合は、迷わず市消費生活センターや警察にご連絡ください。

■問合　市消費生活センター☎0287－83－1014

ちょこっと！軽減税率Q&A

Q1．スーパーマーケットやコンビニエンスストアのイートスペースで飲食した場合は外食になりますか？

A1．外食として標準税率（10％）が適用されます。

持ち帰りの場合は軽減税率（8％）が適用されるので、販売側は意思確認が必要となります。

※ファーストフード店のテイクアウトは軽減税率（8％）、店内で飲食する場合は標準税率（10％）です。フードコートでの飲食は「食事の提供」となりますので、標準税率（10％）が適用されます。

Q2．みりん、料理酒などは、軽減税率の適用対象ですか？

A2．みりんや料理酒が酒税法に規定する酒類に該当するもの（例：アルコール度数が一度以上の飲料）であれば、軽減税率の適用対象となりませんが、酒類に該当しないみりん風調味料は、軽減税率の対象となります。

Q3．そばの出前、宅配ピザの配達は、軽減税率の適用対象ですか？

A3．そばの出前、宅配ピザの配達は、顧客の指定した場所まで単に飲食料品を届けるだけであるため、軽減税率の対象となります。

※顧客の指定した場所まで単に飲食料品を届けることは、「食事の提供」には該当せず、また、いわゆる「ケータリング、出張料理」にも該当しません。

Q4．イチゴ狩りやミカン狩りなどの味覚狩りの入園料は、軽減税率の適用対象となりますか？

A4．果樹園での果物狩りの入園料は、顧客に果物を収穫させ収穫した果物をその場で飲食するため軽減税率の対象となりません。なお、収穫した果物について別途料金を支払っている場合、その果物の販売は軽減税率の対象となります。また、潮干狩りや釣り堀なども同様です。

【問合】

・消費税軽減税率電話相談センター（午前9時～午後5時）

・専用ダイヤル：0120－205－553（通話料無料）

・ナビダイヤル：0570－030－456（通話料がかかります）

※土・日曜日および祝日を除く。

国税庁ホームページ：http://www.nta.go.jp/

広島平和記念式典

中学生12人が平和の尊さ学ぶ

市では、8月5日㈪から7日㈬までの3日間、市内2中学校の生徒12人を広島県広島市に派遣しました。この事業は、将来を担う中学生に戦争の悲惨さや平和の尊さを自らの目で見て認識してもらおうと始まったもので、派遣先では、「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式」に参列したほか、平和記念公園や平和記念資料館などを見学しました。

派遣をとおして、子どもたちが感じたことや平和への願い、これからの自分たちの取り組みをまとめた報告書を一部抜粋して紹介します。（敬称略、順不同）

広島派遣に参加した生徒

●南那須中3年　湯家谷怜央

原爆ドームや平和資料館の展示品を見て言葉を失った。何度洗っても落ちなかった人の血や油の染みついた衣類、写真を見て僕の胸は潰れそうだった。平和ほど幸福で尊いものはない、戦争ほど残虐で悲惨なものはない。戦後74年たった今でも世界では戦争が後を絶たない。平和の礎となった先の戦争の尊い犠牲に敬意を忘れず、核兵器の残酷さや悲惨さを僕たちは学び、次世代の人に語り継いでいくことが大切だと思う。

●南那須中3年　小濱瑠唯

広島に原子爆弾が投下され、一瞬にして大切な人や大切なもの、何もかもが奪われました。平和記念式典には異国の人々も合わせ、大勢の人が参列しました。式に参加できたことはとてもいい経験となりました。自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。自分たちが先頭に立って平和への道を切り開くべきだと思います。これから、被爆者の思いをしっかり受け止め、平和への思いを世界につなげたいです。

●南那須中3年　久保居陽大

被爆者の遺品や被爆の惨状を写した痛々しく、生々しい写真や絵。原子爆弾一つで、一瞬で破壊された広島の風景などを目の当たりにし、テレビや教科書では決して学ぶことのできない当時の人々の苦しく悲しい状況、戦争や核兵器の恐ろしさを感じた。広島で見たこと感じたことを身近な人に伝え、考えることが僕たちの使命であり、平和な未来を創る第一歩につながると思う。平和な世界を築くため、できることから貢献したい。

●南那須中3年　箕浦悠太

青少年平和・文化イベントを聴講して、参加していたどの生徒も戦争や核兵器に対する思いが強く、感動した。僕は、平和記念式典での平和の誓いが一番心に残った。「戦争は忘れることのできない特別なもの」という、被爆者が語ったことを聞き、戦争がどれだけひどいものだったか想像でき、恐いものだと感じた。74年前と同じ悲劇を起こさないため、今自分にできることを考え、平和に対する思いを広げていきたい。

●南那須中3年　木島未衣奈

平和記念資料館を見学し、とても悲しく、泣きたくなりました。原子爆弾が落とされただけでなく、その後も放射線による被爆で苦しんだ人も大勢いてとても大変だったことが分かりました。こんなにひどいことは二度と起こしてほしくないと思い、そして、命は一つしかない宝物なんだと改めて感じました。私は、今を生きている命を宝物だと思い、簡単に命を落としたりせずにもっと自分を大切にしてほしいと願います。

●烏山中3年　島崎華乃

参列して一番感じたことは、「世界中の人々が平和を願っている」ということです。式典には、国籍や性別を問わず多くの人が参列していました。テレビでしか見たことがなかった式典。実際に参列するとテレビでは感じることのできない広島の痛みや思いを感じました。「戦争」は、私たちにとって遠いものではありません。だからこそ、私はもっと周りの人に伝え、悲惨な過去から目をそらさず、向き合い学んでいきます。

●烏山中3年　堀江一世

原爆による被害は、想像以上にひどく、悲惨だった。皮膚が垂れ下がり、顔は水ぶくれでふくらみ、全身が黒みがかった朱色になった人の写真など、資料館には胸が痛む被害の記録が残されていた。原爆ドームは、鉄骨がむき出し、コンクリートはぼろぼろと、原爆の威力を物語っていた。原爆の悲惨さを被爆国目線で世界に伝えることができるのは、私たち日本人しかいない。その一人として、まずは身近な人に、原爆の恐ろしさや平和の大切さを伝えていきたい。

●烏山中3年　安齋宏紀

平和の誓いで「自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできること」と聞いた私は今までを振り返った。私は、周りを平和にしていただろうか。反省点を未来へ生かし、周りを平和にしていきたいと思った。これは、戦争でも同じだ。同じあやまちを繰り返さないためにも過去から未来へつなげていきたい。原爆投下から月日が経った今、日本は笑顔が多い国になっている。それを途絶えさせないために努力していきたい。

●烏山中3年　大鐘友里菜

原爆ドームの目の前に立ったとたん、タイムスリップしたような、色のない世界が一気に広がりまし

た。「絶対にあのようなことを後世の人達に体験させてはならない。私たちのこの苦痛は、もう私たちだけでよい」この言葉が一番印象に残っています。私たちは、戦争を体験したことがありません。それはどんなに幸せなことなのでしょうか。体験したことがないからこそ、当時の人々の平和への願いを伝えていくことが私たちの使命だと思います。

●烏山中3年　多賀晴翔

写真でしか見たことのなかった原爆ドームには、今まで見たことがない光景が広がっていた。銅でできていた部分が全て溶け、レンガはいたるところが破壊され、今にも崩壊しそうだった。その状態は、核兵器の恐ろしさと戦争をすることの悲しさを物語っていた。自分が感じたことを多くの人に伝え、過去を知ってもらい、一人ひとりが「平和」を望めば、「平和」はいつか必ず実現できると思う。

●烏山中3年　水井駿介

原爆による被害者はもう二度と出してはいけないと思った。展示してあった資料はどれも衝撃的だった。血だらけになった人や火傷で皮膚がただれてしまった人の写真。どの人もとても苦しそうな顔をしていた。もう誰にもこんな思いをさせてはいけない。なぜ戦争が起こったのか、なぜ広島に原爆が投下されたのかを考え、被害を受けた人々を思いやるとともに歴史的背景をふまえ、二度とあやまちをおかさないようにしたい。

●烏山中3年　吉田真紘

平和記念資料館を見学したり、現地に住んでいる人の話を聞いたりして、「知っている」と思っていたものは、ほんの一部でしかないことに気づいた。一瞬で壊されたものは、かけがえのないものであったことを知った。私は、誰かを想い、会えることに感謝することこそ平和への第一歩だと思う。今回学んだことを忘れずに、周囲の人に戦争の悲惨さを伝えていきたい。誰かのことを心配せずに想える「平和」が来ることを願って。

戦争の無い平和な世界を願い献花する

中山かぼちゃ JA部会が市長に報告

中山かぼちゃの出荷が始まり、8月9日㈮には、JA関係者が市長室を訪れ、川俣市長に今年の作柄や出荷状況などを報告しました。

中山かぼちゃは、ほくほくした食感が特徴で、生育期間が長く、種が他に流出していないことから希少性もあって高く評価されています。本市の「なすからブランド認証品」で、イオンリテール㈱との協定による「フードアルチザン（食の匠）」として関東で販売されています。

「価格は安定しているが、今年は7月の天候不順で絶対量が少ない。しかし、甘みが強く良いものができた。」とJAなす南中山かぼちゃ部会の佐藤正宏会長（興野）。市内では、山あげ会館や興野直売所などで販売されましたが、入荷するとすぐに売り切れるほどの人気ぶりでした。

商品は引く手あまたの状況ですが、目下の課題は、後継者。JAなす南の中山正樹専務理事は、「現在は11の農家などが生産に取り組んでいるところです。生産に興味がある人がいれば、ぜひ声をかけてほしい」と話していました。

佐藤正宏部会長から川俣市長に今年の作柄などが報告された（左）。右は、JAの中山正樹専務理事と佐藤康宏園芸販売課長

いなか川遊び 交流を深め自然を満喫

荒川南部土地改良区（久郷浩代表）では、8月3日㈯、JR小塙駅周辺で「自然に触れよう!! いなか川遊び」を開催しました。今年で14回目を迎えるこのイベントは、都会に住む人々に、本市の豊かな自然を満喫してもらおうと開かれたもので、豊島区から62人、本市から19人の親子が参加しました。

当日は、ひまわりの迷路やカブトムシ採集、川遊び、スイカ割りなどを体験。川遊びでは、一生懸命に水生生物を探す子どもたちの姿が見られました。

魚釣りを楽しむ参加者

市職員給与のあらまし

市職員の給与と職員数など、人件費の状況がまとまりましたのでお知らせします。

職員の給与額は、公務員と民間を比較して人事院が毎年勧告する国家公務員の給与に準じて改定しています。

今回掲載した内容は、平成31年4月1日現在の「地方公務員給与実態調査」と「地方公共団体定員管理調査」によるものです。

■総務課人事グループ　☎0287－83－1117

■職員手当の状況（平成31年4月1日現在）

手当名	内容	手当名	内容
扶養手当	・配偶者　6,500円 ・子　10,000円 ・父母等　6,500円 ※満16歳から満22歳までの子一人当たり5,000円の追加	住居手当	・原則市内の借家等（家賃12,000円を超えるものに限る）に対して、家賃に応じて27,000円を限度に支給
通勤手当	（片道2㎞以上に限る。） ・交通機関を利用する場合、運賃の額55,000円までは全額支給、それを超える場合は支給単位期間につき55,000円に支給単位期間の月数を乗じて得た額 ・自家用車等を利用する場合、通勤距離に応じて2,000円から31,600円の範囲で支給	期末勤勉手当	期末手当　勤勉手当 6月期　1.30月　0.925月 12月期　1.30月　0.925月 計　2.60月　1.850月 ※職務上の段階、職務の級等による加算措置あり ※人事院勧告により、支給月の変動あり
管理職手当	・参事の職：44,300円 ・課長の職：37,400円 ・主幹の職：27,800円 ※職名により定額支給		

■職員数の状況

（各年4月1日現在、平成31年地方公共団体定員管理調査より）

区分		職員数 平成30年	職員数 平成31年	対前年増減数
一般行政職	議会	4	4	0
	総務	58	57	△1
	税務	17	16	△1
	民生	47	47	0
	衛生	18	16	△2
	農林水産	16	15	△1
	商工	9	9	0
	土木	12	12	0
	小計	181	176	△5
教育		45	47	2
一般会計		226	223	△3
公営企業等	病院	1	1	0
	水道	6	7	1
	下水道	5	4	△1
	交通	0	0	0
	その他	11	12	1
	小計	23	24	1
合計		249	247	△2

（注）
1　この調査の対象から特別職（市長、副市長、教育長）は除きます。
2　条例定数はあくまでも那須烏山市職員定数条例に基づく定数になります。
3　増減の主な理由は、退職不補充による減、グループ再編及び配置異動に伴う増減です。

■特別職報酬などの状況（平成31年4月1日現在）

区分	給料月額等
市長	750,000円
副市長	610,000円
教育長	560,000円
議長	370,000円
副議長	300,000円
議員	270,000円
期末手当 6月期　1.675月 12月期　1.675月 計　3.350月	

（注）
※人事院勧告により、支給月の変動あり。

■人件費の状況（平成30年度普通会計決算）

住民基本台帳（H31.3.31）	歳出額（A）	人件費（B）	人件費比率（B/A）
26,442人	11,569,980千円	1,834,434千円	15.9%

（注）人件費には特別職（市長、副市長、教育長）と議員ほか非常勤特別職の給与報酬を含んでいます。
※地方財政状況調査要領に基づく。

■職員給与費の状況（平成31年度普通会計予算）（単位：千円）

職員数（A）	給与費 給料	給与費 職員手当	給与費 期末・勤勉手当	給与費 計（B）	一人当たり給与費（B/A）
246人	890,917	195,053	348,913	1,434,883	5,833

（注）1　職員手当には退職手当は含まれません。
2　給与費には、特別職（市長、副市長、教育長）の給与を含んでいます。
ただし、企業会計である水道事業の給与は含まれていません。

■職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成31年4月1日現在）

区分	一般行政職 平均給料月額	一般行政職 平均年齢	技能労務職 平均給料月額	技能労務職 平均年齢
那須烏山市	300,000円	40歳　8月	284,100円	58歳　2月
全国平均	327,050円	43歳　1月	324,106円	52歳　9月
栃木県平均	334,014円	43歳　0月	345,058円	53歳　2月

（注）一般行政職とは、企業会計・特別会計職員、税務職員、保健師、保育士、教諭、技能労務職員を除いた職種をいいます。
市の平均は平成31年4月1日、全国及び栃木県の平均は平成30年4月1日現在の数値です。

■経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（一般行政職）（平成31年4月1日現在）

区分	経験年数10～14年	経験年数15～19年	経験年数20～24年
大学卒	253,700円	308,600円	369,100円
高校卒	212,300円	254,100円	—

■初任給の状況（一般行政職）（平成31年4月1日現在）

区分	初任給
大学卒	170,100円
高校卒	148,600円

いちご一会とちぎ国体 市実行委員会を設置

令和4年に栃木県で開かれる第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）の成功を目指し、「いちご一会とちぎ国体那須烏山市実行委員会」の第1回総会が8月6日㈫、南那須公民館で開かれました。

とちぎ国体と第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）の開催は、7月に正式決定しました。国体は令和4年10月1日から11日まで、障害者スポーツ大会は29日から31日まで、県内各地で開催され、那須烏山市では、アーチェリー競技の全種目が大桶運動公園で開かれます。

この日は、実行委員会に先立って準備委員会の第2回総会が開かれ、本市の国体開催推進総合計画などが報告された後、準備委員会の組織を実行委員会に改組する議案が全会一致で決定しました。

また、実行委員会では、今年度の事業計画や予算を決定し、今後のスケジュールなどが示されました。

会長を務める川俣純子市長は、「本市が会場となるアーチェリー競技への市民の関心は必ずしも高くない。まずは市民の機運を高め、成功に向けて準備を加速させたい」と呼びかけました。

準備委員会であいさつする会長の川俣純子市長

シリーズ 市の文化財 第100回

市指定天然記念物 高尾神社のケヤキ（曲畑）

ケヤキはニレ科の落葉高木で、本州、四国、九州、台湾および中国に分布し、本県でも低地や山地に自生しており、木材は昔から重要な建築材として用いられてきました。

高尾神社のケヤキは、神社参道入り口の左側にそびえるように直立する巨木です。樹齢は推定500年ほどで、その太枝を東西に広げています。

境内には、神社の荘厳さを醸し出すように、このほかにもケヤキやスギの大木が多数林立しています。

情報公開及び個人情報保護制度

平成30年度の運用状況

■23件の情報を公開、4件の個人情報を開示

市では、公正で開かれた市政を推進するために「情報公開条例」に基づき、市が持っている情報（公文書）を皆さんからの請求に応じて公開しています。

また、個人情報を適正に取り扱うために「個人情報保護条例」を制定し、これに基づき市が持っている個人情報の開示や訂正、利用の停止を求めることができます。

これらによる「情報公開制度」及び「個人情報保護制度」の運用状況については、毎年1回、その概要を公表することとなっています。

平成30年度は、23件の情報公開の請求がありました。また、個人情報開示請求が4件（内訳：全部開示2件、部分開示2件）あり、訂正請求及び利用停止請求はありませんでした。

■問合　総務課行政グループ　☎0287―83―1117

▼情報公開条例による公開請求の状況（H30.4.1～H31.3.31）

実施機関	担当課	請求件数	処理状況 公開	部分公開	不存在非公開	不服申立て
市長	総合政策課	1	0	0	1	―
	総務課	5	4	0	1	―
	税務課	1	1	0	0	―
	市民課	2	0	2	0	―
	健康福祉課	1	1	0	0	―
	商工観光課	1	1	0	0	―
	都市建設課	2	1	0	1	―
	上下水道課	2	2	0	0	―
	小計	15	10	2	3	―
教育委員会	学校教育課	3	2	0	1	―
	生涯学習課	1	0	1	0	―
	小計	4	2	1	1	―
議会	議会事務局	4	1	1	2	―
合計		23	13	4	6	―

※部分公開とした理由は、個人に関する保護情報、法人に関する保護情報に該当する部分があったため。
※不存在・非公開とした理由は、請求のあった情報が存在しなかったため。

河原蒼さんが
陸上競技で関東大会出場

烏山中3年の河原蒼さん（上境）が、7月6日㈯、7日㈰に佐野市で行われた「第47回関東中学校陸上競技大会栃木県予選」の1500m走で6位に入賞し、8月8日㈭、9日㈮に山梨県で行われた関東大会へ出場しました。

大会を前に田代和義教育長を表敬訪問した河原さんは、「関東大会という大きな大会に出場するのは初めてなので、コンディションを整えて自分のベストを尽くした走りができるようにしたい」と意気込みを語りました。

1500m走で関東大会に出場した河原さん

日野町八天宮納涼祭
多彩な催しで盛り上がる

商売繁盛を願って奉られた八天宮の納涼祭が、8月11日（日・祝）、日野町八天宮納涼祭実行委員会（黒須正一実行委員長）により開かれ、約1000人の人出でにぎわいました。

当日は、八天宮周辺の道路が歩行者天国に。納涼祭では、かき氷やわたあめ、ヨーヨー釣り、やきそばなどの模擬店のほか、流しそうめんやじゃんけん大会が行われました。なかでもかき氷は大好評。

また、ステージでは高野恭平さんや初登場の「音の旅人くみ∞せい」さんによるライブが行われ、訪れた人々を楽しませました。

予定していた消防による防災訓練や起震車体験は中止となってしまいましたが、消防車の展示が行われ、運転席に乗り、喜ぶ子どもたちの姿が見られました。

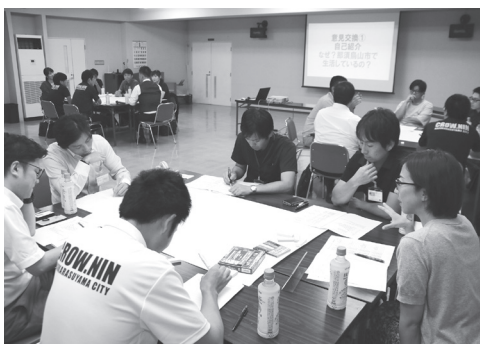
終盤には、恒例となった西川会による盆踊りが行われ、お囃子（はやし）や太鼓の音に合わせて地域住民が輪

市職員と商工会青年部がタウンミーティング
20年後の那須烏山市を考える

8月23日㈮、那須烏山商工会青年部（檜山敏大部長）による、タウンミーティングが那須烏山商工会館で開かれ、同青年部員と市職員26人が参加しました。

これは、「20年後の那須烏山を考える」をメインテーマに、今後の市を担っていく責任世代である若手職員と意見交換の機会を設け、お互いの考えを共有しようとタウンミーティング実行委員会（阿島武志委員長）が企画したものです。

ミーティングでは、「なぜ那須烏山市で生活しているのか」や「那須烏山市で生活していて実感する幸せとは」、「これからの那須烏山市に必要なもの」といった3つを小テーマに、20年後の那須烏山市がどうなっていくのかを議論。「豊かな自然や歴史、景観、人の温かさが市の魅力」、「住み続けるには、働ける場所や気軽に集まれる場所が必要」といった意見が出されました。



市政について様々な意見が出されたタウンミーティング

各地で…

夏の夜空を彩った横枕の花火

地域の夏祭り

８月に入り、市内各地で夏祭りや花火大会、納涼祭などが開かれ大勢の人が夏の風物詩を楽しみました。
今月号では、いくつかのイベントの様子を紹介します。

盆踊りで盛り上がる 第10回西川会夏祭り

西川会（西川扇士浪代表）による「第10回西川会夏祭り」が、８月17日㈯、山あげ烏章館周辺を会場に開かれ、地域住民約３００人が訪れました。

この祭りは、古き良き日本の風物詩を残そうと毎年開かれているもので、当日は、山あげ烏章館で同会門弟による日本舞踊のほか烏山常磐津教室による三味線の演奏や歌などが披露されました。また、今年は10年目を迎えたことを記念して、西川代表により祝舞「千代の寿」が披露されました。

その後、山あげ会館前駐車場に提灯（ちょうちん）や櫓（やぐら）を設置した特設会場に場所を移して盆踊り大会が行われました。盆踊りでは、「日光和楽踊り」や「ダンシングヒーロー」、「東京音頭」などの曲に合わせ、同会のメンバーや地域住民などが輪になり踊りを楽しみました。

10年目を迎え西川代表は、「10年間は長いようで短かった。毎年続けてこれたのは皆さんのおかげ。祭り自体は今年で最後になるが、また違った形で盆踊りだけでも続けていきたい」と話していました。

西川会門弟による日本舞踊

地域住民が輪になり踊る。櫓からはシャボン玉も飛ぶ

横枕青年団結成10周年記念横枕花火大会 夜空に555発の大輪の花火

８月12日㈪、横枕青年団（生魚貴宏団長）では、よこまくらグループホーム駐車場で「第９回横枕花火大会」を開き、過去最多の約２０００人が会場を訪れました。

当日は、「Ｒｏｕｇｈ Ｄｉａｍｏｎｄ」や「ＢＥＡＴ ＣＲＡＳＨ」によるダンス、よしもと芸人によるお笑いライブ、君島怜奈さんによる歌謡ショーなど様々なステージが会場を盛り上げました。また、会場内には同青年団やみつわ工房により、やきそばや唐揚げ、ところてんなどの模擬店がずらり。なかでも、射的が大人気で、順番を待つ子どもたちで長蛇の列ができていました。

夕日が沈み辺りが涼しくなり始めた７時半頃からは、日本三大花火師の一つ「野村花火工業」による５５５発の花火が、横枕の山間に打ち上げられました。夏の夜空を彩る大輪の花火に会場からは大きな歓声が上がりました。

２回目の開催となったじゃんけん大会

涼を求める人々で行列ができていました。

手持ち花火を楽しむ子どもたち

になって踊りを楽しみました。

冷たいかき氷は大人気

伝統受け継がれる
森田と下境で獅子舞を奉納

■森田の獅子舞

8月24日㈯、森田宿集合センターで、市指定無形民俗文化財「森田の獅子舞」が披露されました。弁財天祭礼の一環で奉納されたもので、地域住民など50人あまりが伝統の舞を楽しみました。

この獅子舞は、相次いで起こった天変地異の影響を危惧した森田領主大田原増清が、弁財天を祀(まつ)ることで民生の安定と五穀豊穣を祈願したことが起源と言われています。

当日は、御仮屋(おかりや)前で3頭の獅子が笛の音色に合わせて優雅な舞を奉納。途中に「おかめ」や「ひょっとこ」などがコミカルな踊りを披露し、見物客の笑いを誘いました。

森田の獅子舞

■下境ささら獅子舞

下境の稲積神社で、8月25日㈰、市指定無形民俗文化財「下境ささら獅子舞」が行われました。

250年以上の歴史があるこの獅子舞。風土安穏や五穀豊穣を願い、毎年二百十日の前日(現8月の第4日曜日)に奉納されています。

当日は、地元の小学4年生3人が新舞子、昨年舞った小学5年生3人が古舞子として登場し、14通りある獅子舞を笛の音色に合わせて披露。境小4年菊地恵太さん(下境)は、「新舞子としてしっかり練習の成果が出せた」と話していました。

下境ささら獅子舞

民話の里めぐり
小学生が民話や伝統芸能学ぶ

烏山語りの会(五月女佳子会長)では、8月25日㈰、本市に伝わる民話や伝統芸能を小学生に知ってもらおうと、民話の里めぐりを開きました。

当日は、どうくつ酒蔵で「師走八日の千本騒動」や「百物語」などの民話5つが同会員によって語られました。その後、下境の稲積神社に移動し、市指定無形民俗文化財の「下境ささら獅子舞」を見学しました。

どうくつ酒蔵で民話を聞く子どもたち

シリーズ 公民館講座に行こう！
～実施講座レポート④～

今回は、「夏休みやっつけ隊」について紹介します。この講座は、小学生と保護者が別講座を受講しました。

第1回理科研究（8月3日㈯）

小学生は、しもつけ理科サークル代表の箕輪秀樹さんに、事前に提出してもらったアンケートを基に指導いただき、保護者は、金融広報アドバイザーの大久保和之さんに、ライフプランについて講義いただきました。

理科研究の指導の様子

第2回絵画・ポスター（8月10日㈯）

小学生は、講師の髙徳宗光さんに、構図のとり方や色彩の付け方などを指導いただき、保護者は、地域おこし協力隊の市田久美子さんの指導で、美味しいコーヒーのいれ方を実習しました。

◇

今回の講座では、烏山高校の生徒さんにボランティアとして協力いただきました。

講座時間内に作品は完成しませんでしたが、講師やボランティアの皆さんのアドバイスを基に、思い出に残る素晴らしい作品が完成したことでしょう。

【今後の募集予定講座】

○二宮尊徳を学ぼう（10～12月の4回）

烏山にもつながりのある、二宮尊徳の業績と考え方や実践方策について学びます。

○アロマ講座（11～1月の3回）

アロマを使った入浴法や、保湿系クリーム作り、花粉症や風邪の予防について学びます。

○地酒講座（11月21日㈭）

日本酒の香りや肴(さかな)とのマリアージュを楽しみます。

※詳細は、市ホームページや広報お知らせ版をご覧ください。

■問合　烏山公民館
☎0287―83―1412

シリーズ

在宅医療のあれこれ Part 17

生活支援体制整備事業～地域の支え合い活動の推進

国では、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が切れ目なく、包括的に確保され、連携し合う体制づくりとして「地域包括ケアシステム」を掲げています。

「生活支援体制整備事業」は、その主要な柱の一つとして、全国一斉にスタートした取り組みで、地域に必要な社会資源の開発や居場所づくり、見守り、支え合い活動などを推進するために地域住民や関係機関・団体などのネットワークづくりを行います。

現在、市はこれらを推進するための人材として「生活支援コーディネーター」を社会福祉協議会に委託し、協働で事業を進めています。

＜本市での取り組み＞

・各自治会で実施している「いきいきサロン」や「ふれあいの里」、自主的な居場所、見守り活動のマップづくりや、新たな活動づくりをバックアップしています。

・地域活動や生活で役立つ時事情報を掲載する「支え合おうねットワーク通信」を毎月発行し、地域住民や関係機関・団体へ配布しています。

・自治会、民生委員児童委員、ふれあいの里など実践者との「情報交換会」を各地区で開催し、地域で必要な活動に対し個人、地域、、市・社協それぞれできることなどを話し合います。今後も年２回を目安に開催していく予定です。

・地域と関係機関が連携し、地域生活課題の把握に基づく早期発見、早期対応の体制づくりを目指していきます。

＜生活支援コーディネーターからひと言＞

今後も、地域住民による主体的な活動や地域課題を集約し、必要な生活支援施策の充実強化につなげていくため、積極的に地域へ出向いてコーディネートをしていきます。

地域住民や関係機関などの皆さんも、自分らしく生きることができる支え合いの地域づくりを目指し、今後とも一緒に活動の推進をよろしくお願いします。

市社会福祉協議会　☎０２８７－８８－７８８１

消費者コラム㉚

消費者ほっと♥らいふナビ

特集に合わせて消費税増税対策の制度のご紹介です！

【プレミアム付商品券事業】

・消費税の税率引き上げが市民の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするために実施します。

・１人当たり、最大２万５千円分の商品券を２万円で購入できます。

【販売対象者・申請方法】

①住民税が課税されていない人（住民税が課税されている人に扶養されている人を除く）

②子育て世帯の人（平成28年４月２日～令和元年９月30日までの間に生まれた子のいる世帯の人）

①の人にはプレミアム付商品券購入引換券交付申請書を既にお送りしています。対象と思われるのに、まだ手元に届いていない人や、自分が対象になるのか確認したい人は、商工観光課（☎０２８７－83-１１１５）までお問い合わせください。

②の人は事前申請不要です。

【販売期間】

令和元年10月１日㈫～令和２年２月28日㈮

【使用期間】

令和元年10月１日㈫～令和２年2月29日㈯

【販売場所と取扱店】

市内７局の郵便局で販売します。

利用できるお店は市内のお店になります。

詳細は、市ホームページをご確認ください。

また、プレミアム付商品券の「特殊詐欺」などにご注意ください！自宅や職場に不審な電話がきた際には迷わず市の消費生活センターにご連絡ください。

那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）
【専用電話番号】0287－83－1014
【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30
※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188（局番なし）」へご相談ください。

第2回「島守忌」俳句大会
齋藤さんが本県初の最高賞に輝く

太平洋戦争末期に沖縄県警察部長を務めた宇都宮市出身の荒井退造さんなどを顕彰する第2回「島守忌」俳句大会で、下境の齋藤穂さんが一般の部の最高賞である沖縄県知事賞に輝きました。平成29年に行われたプレ大会を含め、本県応募者の最高賞は初めてとなります。

最高賞を受賞した齋藤さん

大会は、荒井さんと共に沖縄県民の疎開に尽力した島田叡同県知事の顕彰活動の一環で、有志でつくる島田叡氏事跡顕彰期成会が主催するもの。2人が消息を絶ったとされる6月26日近くを「島守忌」「島田忌」とし、これらを季語とする投句を募っています。

第2回大会には、一般と高校生の部に沖縄や本県などから計463人765句の投句がありました。

齋藤さんの作品は、「白南風（しろはえ）の　沖から明けて　島守忌」で、受賞を受けて齋藤さんは、「荒井退造さんが、宇都宮市出身だと知ったことと、私自身『山あげ』を季語にしようと活動していることもありこの大会に連帯感や同情を感じ投句した。読んだ人に少しでも明るい気持ちになってもらえたら嬉しい」と話していました。

地域の環境美化と防犯のために
自警団と子どもたちが清掃活動

7月20日㈯、烏山小・中学校の児童・生徒の登下校時間帯に学校周辺や通学路で自主的にパトロール活動などを行っている烏山自警団（大和勝夫団長）と学童野球チーム「烏山クラブ」が市内の環境美化を目的に、JR烏山駅前で清掃活動を行いました。

当日は、児童と保護者など約50人が参加。駅前広場や駐輪場のゴミ拾い、除草作業をしたほか、児童が制作した「防犯ポスター」を掲示しました。

清掃活動に参加した烏山小3年の鈴木雅也さん（興野）は、「初めて参加した清掃活動でしたが、皆で楽しく掃除することができた。とてもきれいになってうれしい」と話していました。

JR烏山駅周辺を清掃する子どもたち

住民だからこそできる地域づくり
那須烏山市自治会連合会研修会

8月8日㈭、烏山公民館で、那須烏山市自治会連合会（中山粂男会長）による「住民だからこそできる地域づくり講話会」が初めて開催され、行政区長・副区長および地域住民約100人が参加しました。

この研修会は、「コミュニティ創生　住民主体による地域経営とその人づくり～わがごと・まるごと　住民主体は何ができるか～」をテーマに、山形県川西町の吉島地区で、723世帯全てが加入するNPO法人きらりよしじ

高橋さんによる講演

まちのわだい

「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ　☎0287-83-1112

台湾のボランティア学生がオカリナで演奏した日本の童謡や歌謡曲は愛和苑の高齢者達に大好評

台湾の学生が
那須烏山市で初ボランティア

7月30日㈫から8月1日㈭にかけて、台湾の中学生から大学生までの学生11人が市内の高齢者施設や障がい児施設を訪れ、慰問ボランティアを行いました。

「これまで、世界各国で慰問ボランティアを行ってきましたが、日本での活動は今回が初めて」と訪問団代表の王淑玉さん。30日、31日には愛和苑で、1日にはくれよんスクールで、一緒に歌を歌ったり、折り紙でこまを作ったり、オカリナで日本の童謡や歌謡曲の演奏をして交流を深めました。

大学1年生の李茵茵さんは、「慰問ボランティアをしておじいちゃんやおばあちゃん、子どもたちに楽しんでもらえたのでよかった。子どもたちがとても活発で、一緒にクイズなどをしてとても楽しかった。言葉が通じなくても心で通じ合うことができたので嬉しかった」と話していました。

烏山高校茶華道部が
山あげ祭期間中にお点前を披露

7月27日㈯、那須烏山商工会2階の会議室を会場に、烏山燦陶会の協力のもと、烏山高校茶華道部によるお茶会が開催され、多くの参加者をもてなしました。

山あげ祭期間中のイベントの一つとして開催するのは今年で4年目。このほかにも様々なイベントでお点前を披露しています。お茶会は、子どもやお年寄りでも楽しめるようにと野点の作法が用いられ、気軽な雰囲気の中、日頃の練習の成果を発揮しました。最初に亭主としてお点前を披露した2年の大木愛さん（下境）は、「一番最初だったので緊張しましたが、きれいに点てることができ、また、とてもいい経験になった」と、補佐役の半東を担当した2年の黒羽雅悟さん（下境）は、「緊張しましたが、たくさん練習した結果が出せた」と話していました。

野点の作法でお点前を披露する大木さんと㈰黒羽さん㈲

まネットワーク事務局長の高橋由和さんを講師に行われました。

当日は、行政に依存しない地域の課題解決のため、住民主体による地域づくりの組織化やそのプロセスの大切さを考えました。

高橋さんは、「人口が減少していく中、高齢者や若者皆がまるごと一緒になって支える環境を整え、地方創生と地域共生の協働による地域づくりが大切」と話していました。

紆余曲折あった法人の設立や、実際の活動の実践例を挙げながら進められた講義は、とても興味深く市民一人ひとりに考えさせられるものがありました。

渡邉イサ子さんが満百歳
市内では14人目

曲畑の渡邉イサ子さんが、8月11日㈰、満百歳の誕生日を迎え、13日㈫には、川俣純子市長が、渡邉さんが入所する愛和苑を訪れ、祝詞と花束などを手渡して長寿を祝福しました。

渡邉さんは、車いすを使っていますが、そのほかは元気そのもの。面倒見が良くて施設でも人気者です。この日は、玄孫も含む8人のご家族のほか、施設の仲間など40人ほどが集まり、健康を祝いました。「好き嫌いなく何でもよく食べ、手先を使う細かい作業も器用にこなす」とは知る人の声。それが長寿の秘訣のようです。

これで市内の100歳以上の高齢者は、107歳の山﨑ハギさん（白久）を筆頭に14名になりました。

川俣市長や渡邉さんの家族、施設の仲間たちから祝福を受ける渡邉イサ子さん

おめでた

赤ちゃん名　（保護者）住所

岡崎樹叶（樹・美沙）旭2丁目
清水彩永（康行・恵美）上境
小林真那仁（隆充・雅代）月次
小池柚月（康・典子）鴻野山
佐藤壮（崇明・万美）野上
山村慶太（信・育枝）初音

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第65回栃木県陸上競技春季大会（4月12日㈮、栃木県総合運動公園陸上競技場）

【高校一般男子400mB】▽第3位：塩野目友都（宇都宮高校）

●第14回那須烏山市柔道大会（6月23日㈰、那須烏山市武道館）

【小学生低学年の部】▽優勝：加藤裕騎亜（南那須柔道）▽準優勝：樋山心椰（習励館大橋道場）▽第3位：古口雅也（南那須柔道）

【小学生高学年の部】▽優勝：木島弥麻人（南那須柔道）▽準優勝：相吉澤堵夷（習励館大橋道場）▽第3位：小口哲平（南那須柔道）【中学生の部】▽優勝：高森大貴（烏山中）▽準優勝：塩田優介（南那須中）▽第3位：山口祐揮（烏山中）【高校生の部】▽優勝：原優倭（烏山高校）▽準優勝：澤村拓磨（烏山高校）▽第3位：平間幸一郎（烏山高校）

●第90回栃木県陸上競技選手権大会（6月28日㈮、栃木県総合運動公園陸上競技場）

【男子4×100mR】▽第3位：宇都宮高校（塩野目友都）

●第13回文月ソフトボール大会（7月1日㈪～2日㈫、緑地運動公園）

▽優勝：藤田　▽準優勝：八ヶ代
▽第3位：荒川南

●第9回スポーツマスターズ関東地区空手道競技会（7月14日㈰、埼玉県立武道館）

【女子3部組手】▽優勝：生魚英子（栃木県）【団体組手】▽第3位：栃木県（生魚英子）

●第38回関東スポーツ少年団交流大会（7月26日㈮～28日㈰、ALSOKぐんま総合スポーツセンター　ぐんま武道館）

【総合成績】▽優勝：栃木　【団体女子組手】▽第3位：栃木B（大輪莉央奈）

●第40回記念南那須地区少年剣道大会（8月3日㈯、那須烏山市武道館）

【団体の部】【4年生以下の部】▽優勝：宏倫剣道　【5年生以上の部】▽優勝：烏山剣道教室　▽準優勝：宏倫剣道
【個人の部】【小学3・4年生の部】▽優勝：土居明夫（宏倫剣道）　▽準優勝：笠井雄斗（烏山剣道教室）　▽第3位：河和汰來（宏倫剣道）、二藤部櫂理（烏山剣道教室）【小学5・6年生の部】▽優勝：渡邉錬（宏倫剣道）　▽準優勝：新井乙葉（烏山剣道教室）　▽第3位：滝口桃子（宏倫剣道）、高野大翔（烏山剣道教室）【中学男子の部】▽優勝：相ケ瀬快（南那須中）　▽準優勝：沖村愛希（南那須中）　▽第3位：山口侑希（南那須中）、笹沼春樹（南那須中）【中学女子の部】▽優勝：菊池優奈（南那須中）　▽第3位：松村美優（烏山中）

㈱ケン・コーポレーション
市に300万円を寄附

本市で太陽光発電事業などに取り組む㈱ケン・コーポレーション（佐藤繁代表取締役社長）が、7月27日㈯、ふるさと応援寄附金として本市に300万円を寄附しました。同社からの寄附は4年連続で合計1800万円となりました。

この日、山あげ祭を観覧した島影エネルギー事業開発部長は、「戻橋は非常に迫力があり面白かった。この素晴らしい地域の活性化のために役立ててください」と川俣市長に寄附金を手渡しました。

島影エネルギー事業開発部長（右）から目録を受け取る川俣市長

編集後記

○お盆中実家に帰ると大好きなマンゴーや桃、スイカ、メロン、ブドウが。でも、食べていると絶対に熱い視線が注がれるんです。もも（愛犬）から。ももが食べられないのはブドウだけなのでいつも3分の1くらい取られてしまいます。犬ってすごく表情が豊かで特にももは悲しさや寂しさの表情が上手。分けてあげざるを得ないんです。弟達にももらっているのでもしかして1番取り分が多い…？ちなみにももの大好物は桃ではなくスイカです

○実はももが家族になる前から我が家は食べ物争奪戦（笑）3人姉弟なのでいつもなんでも3等分。少しでも多いものを手に入れようとよくケンカしていました。「1人っ子だったら全部自分1人で食べられるのに」と話していたのが今ではいい思い出??で、なんだかんだ仲良くいられるのが嬉しい姉です。

○さて、来月10月からは消費税が10%に。軽減税率制度はあるもののやはり家計は厳しいですね。軽減税率制度についてや制度の対象になるものとならないものなど、6～7ページに紹介しているのでチェックしてみてください！

Information

新着図書

南那須図書館　☎0287-88-2748　Fax88-0204
烏山図書館　☎0287-82-3062　Fax82-7566
★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『トク盛り「名字」丼』　高信　幸男
『やってはいけない！老後の資産運用』　岩城　みずほ
『世界一美しい星空の教科書』　大平　貴之
『羽田圭介、クルマを買う。』羽田　圭介
『チコちゃんに叱られる 2』　NHK番組制作班
『のっけから失礼します』三浦　しをん
『かわいい見聞録』　益田　ミリ
『烈風ただなか』　あさの　あつこ
『氷獄』　海堂　尊
『大家さんと僕 これから』　矢部　太郎

★児童図書★

『読む喜びをすべての人に』金治　直美
『季節のこよみ』　平野　恵理子
『よくわかるＶＲ』　舘　暲
『はたらく細胞人体のふしぎ図鑑』　講談社
『おばけとしょかん』　斉藤　洋
『天国の犬ものがたり』　堀田　敦子
『子どもの時計』　金子　みすゞ
『うまれるまえにきーめた！』　のぶみ
『どっち？』　まつおか　たつひで
『ホテルイカ』　林　木林

★CD★

『5×20　All　the　BEST!!』　嵐
『デザイン&リーズン』　槙原　敬之
『エガオとナミダ　あなたに寄り添う、優しい歌』　いきものがかり
『SHISHAMO　BEST』　SHISHAMO
『ジャズ・ナウ　2019』　ジョン・コルトレーンほか

市の人口

2019.8.1現在
（　）対前月比

人口 25,230(-47)

男	12,528	女	12,702
出生	6	死亡	25
転入	27	転出	55

世帯数 9,333

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー

俳句

水野　信一　選

卒寿なる我待つ寺の蝉時雨
長長し山車の金棒曳双姉妹（をさをさ　かなぼう）
孫の声ひびきわたるや夏木立
潮の香も知らぬ浜木綿那須の風

川手　トヨ（金　井）
三森　純子（中　央）
塩坂美枝子（南大和久）
西森　一雄（南大和久）

川柳

篠﨑　酔月　選

立ち話心も弾む老い二人
蚊に刺され痒い痒いと孫が泣く
わが町の山あげ祭文化財
目鼻立ち良くも悪くも親譲り

石原　紀男（中　央）
須田　孝子（城　東）
森　豊（中　山）
吉澤　恒子（落　合）

短歌

滝口　節子　選

メルヘンの世界何処へ科学にて月に旅する日も遠からず
ししとと音もなく降る梅雨空に俯いて咲く夏椿ひとつ
早朝にまずは空気を胸いっぱい吸いて畑の草取り始む
思い出は楽しきことのみ耐えに耐え苦難の昭和を生きて来たるに

石川　ミチ（大　桶）
吉澤　紅月（南　）
水上キヨ子（志　鳥）
川俣登志子（　旭　）

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ（〒321－0692那須烏山市中央1丁目1番1号）あて、郵送で作品をご応募ください。

ご寄附ありがとうございます

■ふるさと応援寄附金
匿名希望者様9人から計7万5千円が本市に寄附されました。

■交通安全カーブミラーの寄附
那須南農業協同組合（荒井節組合長）様から交通安全カーブミラー1基が寄附されました。

■社会福祉事業寄附金
杉山敬三様から10万円が寄附されました。

おわびと訂正

8月号18ページで、「小学4年男子組手」とあるのは、正しくは「小学5年男子組手」です。おわびし訂正いたします。

小塙駅周辺でヒマワリ満開

8月初旬、荒川南部土地改良区（久郷浩代表）によるＪＲ烏山線小塙駅周辺のヒマワリ畑が満開を迎え訪れた人々を楽しませました。

大輪の花を咲かせたヒマワリ畑は絶好のフォトスポットに

シリーズ

烏山高校ってこんなところ！ ～烏山学編～

特別公演で烏高生が大活躍

山あげ祭最終日の７月28日㈰、山あげ会館前で「烏山高校特別公演」が行われました。当番町鍛冶町の粋な計らいにより、烏山学として初めて祭典に参加しました。

生徒のコメント

１年　茂垣柚香さん（中央２丁目）

私は「舘」を担当しました。道具などは思ったよりずっと重かったです。体験をとおして、「祭りを見る側は楽しいけれど、実際にやる側になると体力勝負だな」と思いました。ちょっとしたミスが事故につながるので、とても緊張しました。

１年　屋代真綾さん（鴻野山）

私は「橋波」を担当しました。体験する前は不安でいっぱいでしたが、若衆さんたちに優しく丁寧に教えてもらい、楽しく活動することができました。舞台の裏側は本当に大変なんだなと実感しました。雲をイメージした煙を上げる体験では、表側から棒が見えないように煙を上げるのがとても難しかったです。

山あげ祭の見どころは、山の絵の切り返しや花火を使って細かいところまで表現されているところが挙げられます。それは出演者と舞台裏の息が合っていないとできないので、そこが山あげ祭の一番の見どころだと思います。

１年　岩澤紅羽さん（那珂川町）

中山を担当しました。しかし、実際に参加してみて、山を上げるのはとても重く辛かったけれど、地域の人々からの声援を受けたりするうちにだんだんと楽しくなってきました。重たい道具を運び終わると、すっきりとした清々しい気持ちになりました。

体験をとおして学んだことは、力を合わせて協力することの大切さと、伝統を守り、山あげ祭を残していくことがとても必要だということです。地域の人々は、このままでは山あげ祭がなくなってしまうのではないかと心配していると聞きました。なんとかしてこの祭りを残したいと強く思い、今回のような特別公演を続けていくべきだと思いました。

那須烏山ジオパーク構想だより㉙

～ジオガイド特集～

今回は、「市内のいたる所に発見があり、興味が尽きない」と本市の郷土愛を語る青木滋さん（三箇）にお話を伺いました。

Qジオパークに興味を持ったきっかけを教えてください。

三箇の皆さんの協力で行われた、「三箇を掘る」というイベントに参加したのがきっかけです。公民館裏の畑を２ｍほど掘ると川の痕跡のジャリ層が現れ、この地域の地形は水や川の浸食でできたと知り、驚きました。

Qジオガイドになりたいと思った理由は何ですか？

最初は、事務局からのお誘いでガイドを行いました。今は小学生の熱心さに動かされ、レベルアップを目指しています。

Q那須烏山市のジオパークとしての魅力は何だと思いますか？

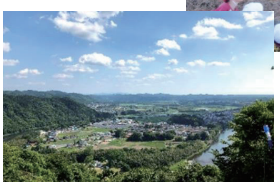
ジオパークは大地だけでなく自然環境、文化、歴史、産業、人々の生活なども含む概念です。

皆さんはご存知ですか？日本列島の基礎となる海底の地層が見える場所・プランクトンが積もった微化石の地層・地図にない８ｍの幻の滝・那須の殺生石が飛んで来た神社・東山道の遺跡…など、市内まるごと「ジオ」の宝庫、それが那須烏山市です。

Qお気に入りの市内ジオサイトとその理由を教えてください。

平群山（へぐりやま）頂上からは、眼下に那珂川、南に筑波、遠く西に日光、そして高原山、那須山を望む雄大な景色が望めます。その手前の喜連川から続く小高い山々は、水の浸食でできた地形です。パラグライダーなどの飛行に適した上昇気流も自然の恵みです。

ガイドをする青木さん



平群山からの景色

編集　那須烏山市総合政策課
〒321－0692
栃木県那須烏山市中央1丁目1番1号
☎0287－83－1112